

平成27年度 高校生未来創造支援事業「地域との連携強化プロジェクト」
事業内容

I 田沢湖クリーンアップ&強歩大会

日 時 平成27年9月11日（金）
場 所 田沢湖畔
活動内容 田沢湖畔2カ所に分かれてゴミ拾い
20km・10kmに分かれて湖畔を強歩

実施の成果

今年も雨が心配されましたが、次第に天気が回復してクリーンアップ&強歩大会は無事に実施できました。

クリーンアップでは、「田沢湖は年中観光客が訪れる場所なので、よりきれいな環境作りをして喜んでもらいたいという気持ちがわいてきた」と感想を言った生徒がいました。

強歩大会では、「自然の中にいると無意識になれて気持ちがいい」「チャレンジすることにワクワクしている」と、前日までは完走できるか不安に思っていた生徒も、とても前向きに頑張ることが出来ました。

今年度は、以下のように田沢湖学として各教科で指導を行っています。今までよりも、田沢湖の自然や辰子姫、観光について考えながら行動したので、このような感想を言ったのだと思います。



本校では昨年に引き続き、この取り組みをキャリア教育の視点で考え、各教科で以下のような授業や指導を展開します。

教 科	指 導 内 容
国 語	辰子姫伝説を読み、八郎太郎に宛てて手紙を書く ～現在と未来の田沢湖の様子を思いながら～
地 歴 公 民	戊辰戦争時の仙北市角館・田沢湖の歴史を学ぶ
数 学	一次方程式 速さ、時間、距離の関係を、強歩大会の記録から 導き出し理解する

理 科	田沢湖の水質について考える
保 健 体 育	持久走 強歩に向けて自分の体力を知る
芸 術	田沢湖について詩を考え、一筆箋に書く
英 語	観光地の紹介を英語で表現する
家 庭	ご当地グルメ 神代あいがけカレーを作る
商 業 情 報	クニマス里帰りプロジェクトのロゴマークをデザインする
養 護	体調管理 強歩に向けて体調を整え、適切な水分や栄養を補給する

Ⅱ 火振りかまくら

日 時 平成２８年１月２５日（月）火振りかまくら祭りの俵作成

平成２８年２月１３日（土）祭り本番

場 所 本校体育館、桜並木駐車場ほか

活動内容 火振りかまくら祭りの俵作成

大曲養護学校の生徒と一緒に火振りかまくら会場でミニかまくら作成

観光客に向けて角館ＰＲしおりを作成して配布

お汁粉を無料で提供

実施の成果

（生徒の感想）俵を編む作業では、自分たちで作った俵が祭り本番で使われるのが楽しみだ。初めてだったけど、わかりやすく教えてもらって最後まで編むことが出来た。また機会があればやりたい。普通に生活している中で体験できないことを体験できて良かった。こういうものを作る人が少なくなっていると思うので、学校の行事として手伝っていけばいいと思った。

俵編みでは２人の講師の方に来ていただきました。楽しみながら全工程を体験することが出来ました。



１３日の祭り本番は、朝から雨で濡れながらの作業となりました。大曲養護学校の生徒と一緒にミニかまくらを作り、その後は観光客の方々に声をかけながらしおりを配りました。暖まってもらおうと用意したお汁粉は、５時半には約２００食がなくなりました。

会場では、NHKの外国向け番組の撮影が行われていて、本校の生徒もインタビューを受けました。英語の授業では祭りの魅力を紹介する取り組みをしていたので、ここで少し生かせたのではないかと思います。

います。



教 科	指 導 内 容
国 語	伝統行事に対する関わり方を考える 自他の考えを尊重しながら、目的や場に応じて効果的に伝え合う力を高める
地 歴 公 民	地域の祭りの経済効果を考える
数 学	日本の伝統的な算額（和算）を知り、実際に解いてみる。
理 科	火振りかまくらと円運動 円運動をしている物体にはたらく遠心力の大きさを求める
保 健 体 育	火を扱う祭りにおいて、緊急時に対応できる能力を身につける やけどの分類と症状、応急処置について知る
英 語	「火振りかまくら」の背景知識を深め、紹介文を書いてその魅力をA L Tに説明する
家 庭	うるち米と餅米の粘りの違いを知る
商 業 情 報	記念しおりを作成する 仙北市の桜の押し花や、生徒手書きの絵を使って作成する
養 護	地元仙北市角館町の小正月行事「火振りかまくら」への参加を通じて、自らの豊かな心と体をつくる健康管理能力を養う